

令和3年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	02	01	06	124270	花巻・遠野広域連携事業費

単位:千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		10,550	10,247		-303
財源内訳	国費	0	0		0
	県費	7,033	6,831		-202
	地方債	0	0		0
	その他	0	0		0
	一般財源	3,517	3,416		-101

特定財源の内訳					

事業期間	単年度繰返	期間限定	令和2年度	～	令和4年度
------	-------	------	-------	---	-------

部重点施策における目標

地方創生と人口減少対策

事業開始の背景・経緯

岩手県では国の支援制度の対象とならない市町村における広域連携の取り組みを支援するため、地域経営推進費の中に広域連携事業分を創設（公募制）。  
県南広域振興圏（花巻・遠野）、県北、沿岸地域を想定。

事業概要

観光施設周辺環境整備事業 7,331千円  
両市の観光施設周辺の支障木の処理と資源化の推進  
児童運動能力育成支援・交流促進事業 新型コロナウイルス感染症の拡大により事業中止  
市境防災連携推進事業 1,916千円  
両市境集落の住民が災害時等に両市どちらの指定緊急避難場所にも避難できるよう、災害用物資や備蓄用倉庫を設置  
オンライン移住等プロモーションイベント開催事業 1,000千円  
首都圏の移住希望者をターゲットに「インターネットラジオ」を定期的に配信  
花巻・遠野誘客促進事業 新型コロナウイルス感染症の拡大により事業中止

担当部署	03100000 総合政策部 秘書政策	担当課長	富澤 秀和
------	---------------------	------	-------

意見・要望等の状況

事業手法の詳細 1

- 観光施設周辺環境整備事業 7,331千円  
まなびキャンパスカード対象施設等周辺の環境整備（松くい虫被害木等の支障木の伐採、被害防止の樹幹注入等）を実施した。さらに、伐採後の支障木のうち資源化可能な木材について、2次利用の拡大を推進した。両市が連携し、観光施設周辺の環境整備を行うことで、広域圏の交流人口の拡大を図った。また、事業効果の早期発現と、伐採後の支障木の再エネルギー材としての資源化を推進した。  
委託料 7,331千円（うち地域経営推進費：4,888千円 7,331千円×2/3）
- 児童運動能力育成支援・交流促進事業 新型コロナウイルス感染症の拡大により事業中止
- 市境防災連携推進事業 1,916千円  
花巻市大迫地区と遠野市達首部地区の市境に位置し、両市民が混在している長崎集落において、両市のどちらの指定緊急避難場所においても同地区の住民の受け入れを可能とするため、災害用物資を備蓄する倉庫を設置し、災害用物資（屋内テント、パーティション、ベッド、毛布）を備蓄した。また、災害時に対応した避難訓練等の実施に向けた検討を進めた。  
花巻市においては下中居自治公民館、遠野市においては達首部地区センターが対象。  
災害時の長崎地区の両市民の避難先が複数確保され、避難体制の強化が図られる。  
需用費及び備品購入費 1,916千円（うち地域経営推進費：1,277千円 1,916千円×2/3）
- オンライン移住等プロモーションイベント開催事業 1,000千円  
「インターネットラジオ」を定期的に配信した（計8回）。  
両市地域に関心のある首都圏の移住希望者をターゲットに、両市に移住してきた方による対談方式による生活、文化、移住体験談等について配信した。  
両市が共同で定期的に開催することにより発信力が強化され、移住定住相談の増加を図ることができた。  
負担金 1,000千円（うち地域経営推進費：666千円 1,000千円×2/3）
- 花巻・遠野誘客促進事業 新型コロナウイルス感染症の拡大により事業中止

令和3年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	02	01	06	124280	総合企画アドバイザー活用・連携事業費

単位:千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		394	121		-273
財源内訳	国費	0	0		0
	県費	0	0		0
	地方債	0	0		0
	その他	0	0		0
	一般財源	394	121		-273

特定財源の内訳

事業期間	単年度繰返	期間限定	~
------	-------	------	---

部重点施策における目標

5 多様な分野における起業や新事業の展開と企業誘致の推進を通じ、市内産業の振興を図ります

事業開始の背景・経緯

人的ネットワークやフットワークを有する民間の方をアドバイザーに起用し、外部の視点から市政全般の課題解決や活性化を目指すもの。

事業概要

総合企画アドバイザー業務 121千円  
総合企画アドバイザーによる助言や指導、情報提供、花巻産食材の販路拡大に係る協議・現地調査、企業誘致に向けた企業訪問やマッチング支援等

担当部署	14100000 商工観光部 商工労政	担当課長	久保田 謙一
------	---------------------	------	--------

意見・要望等の状況

主に食品加工業や誘致企業などの市内関係者からは、いっそうの関係構築や販路開拓・拡大に向けた取り組みを強化いただきたいとの要望があるもの。

事業手法の詳細 1

1 総合企画アドバイザー活動費用および市産食材PRにかかる経費 114千円  
報酬50千円、費用弁償64千円

・概要  
花巻市総合企画アドバイザーの中村勝彦氏には、就任前の(株)あおぞら銀行勤務時から高鉦菓子舗の菓子類や佐藤ぶどう園の房ごとの干しぶどうを店舗のノベルティに採用いただいたほか、名古屋市内の飲食店で花巻市産食材(㈱エーデルワイン、高源精麦(株))の導入や食材PRに尽力いただき、本市の産業振興に寄与いただいたもの。  
これらの実績・活動状況を鑑み、同氏が有する豊富な人的ネットワークやフットワークを市政の課題解決や活性化などにつなげることを目指し、本事業を平成29年8月から実施しているもの。

・事業概要  
地方創生  
農林産物の販路開拓、拡大(6次産業化、農商工連携関連も含む)  
市内企業への企業訪問を通じた企業活性化  
観光PR  
企業誘致にかかる情報収集(必要に応じて企業訪問)  
その他

・事業実績  
ジェイアール東海フードサービス(株)との連携による市内産食品の導入  
ロイヤルホールディングス(株)との連携による市内産食材の継続的な導入の検討  
花巻市産食材と観光資源のPR(花巻ツアーの開催)  
東北地方への新たな事業展開を検討する企業への訪問・折衝  
本務の金融機関におけるキャンペーンでの市内企業の商品採用

2 事業推進に関する打合せ等の経費 7千円  
印刷製本費7千円